

2012年6月5日
日立アプライアンス株式会社

「ナイアガラ出湯」シリーズなど、家庭用エコキュート^(*1)の新製品を発売 寒冷地仕様^(*2)に減圧弁方式の560L機種を投入、「節約サポート機能」も新たに採用

日立アプライアンス株式会社(取締役社長:山本 晴樹)は、家庭用エコキュートの新製品として、「ナイアガラ出湯」シリーズの寒冷地仕様をはじめとした計30機種を6月15日より発売します。

家庭用エコキュートは、優れた省エネ性に加え、電力消費のピークに影響がほとんどない深夜電力を主に使って湯を沸かす点などが改めて注目されています。

今回発売する新製品のうち、水道圧をそのまま利用して瞬間的に沸き上げることで、浴室のシャワーと台所の蛇口2か所で同時に湯を出しても勢いのあるシャワーが使える日立独自の「水道直圧給湯」方式を採用した「ナイアガラ出湯」シリーズの寒冷地仕様3機種(BHP-F37JDK など)では、ヒートポンプユニットの高効率化などにより、年間給湯保温効率(JIS)3.2(寒冷地年間給湯保温効率(JIS)2.9)^(*3)を実現しました。

また、水道水をタンクにため、沸き上げた後に給湯する減圧弁方式を採用したタイプでは、寒冷地仕様として当社初となるタンク容量を560Lとした大容量の3機種(BHP-F56JUKなど)や、搬入性と設置性が高いスリムタンクタイプ3機種(BHP-FC37JUなど)を新たにラインアップしました。

さらに、今回発売する全30機種には、シャワーの使用時間を設定し、アラームでお知らせする機能など、ユーザーの節約指向に対応した「節約サポート機能」を新たに採用しました。

(*1) 電力会社・給湯機メーカーで用いている自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機を総称する愛称。

(*2) 最低外気温が-25℃までになる地域でも設置可能(次世代省エネルギー基準Ⅰ・Ⅱ地域(一部の極寒冷地を含む))。詳細はP.3参照。

(*3) 年間給湯保温効率(JIS)とは日本工業規格 JIS C 9220:2011 に基づく、家庭用ヒートポンプ給湯機運転時の単位消費電力量あたりの給湯熱量・保温熱量を表したものの算出方法などの詳細はP.5参照。BHP-F37JDK、BHP-F37JDKE、BHP-F37JDKJ で年間給湯保温効率(JIS)3.2(寒冷地年間給湯保温効率(JIS)2.9)。

■主な新製品の形式および発売日

タイプ		タンク容量	形式	本体価格 ^(*4) (税込)	発売予定	月間販売 目標台数
フルオート 「ナイアガラ出湯」 (「水道直圧給湯」方式)	標準タンク (寒冷地仕様)	460L	BHP-F46JDK	992,250 円	6月15日	500台
		370L	BHP-F37JDK	908,250 円		
フルオート ^(*5) (減圧弁方式)	標準タンク (寒冷地仕様)	560L	BHP-F56JUK	1,013,250 円		
		460L	BHP-F46JUK	908,250 円		
		370L	BHP-F37JUK	824,250 円		
	スリムタンク (一般地仕様)	370L	BHP-FC37JU	803,250 円		
給湯専用 ^(*5) (減圧弁方式)	標準タンク (オートストップ機能 ^(*6) 付) (一般地仕様)	460L	BHP-ZA46JU	761,250 円		
		370L	BHP-ZA37JU	677,250 円		
	標準タンク (一般地仕様)	460L	BHP-Z46JU	740,250 円		
		370L	BHP-Z37JU	656,250 円		

(*4) この価格は事業者向けの積算見積価格であり、一般消費者向けの販売価格を示したものではありません。台所リモコンおよびふろリモコンを含みます。脚カバーは含みません。

(*5) フルオートとは、リモコン操作で湯はりからたし湯、保温(追いだき)までを自動で行える機種。給湯専用とは、フルオート機種に搭載されているふろ自動機能がついていないシンプルな機種。

(*6) オートストップ機能とは設定湯量に達すると音声でお知らせし、湯ほりを自動で停止する機能。

■新製品の主な特長

1. 「ナイアガラ出湯」寒冷地仕様の新製品を発売(BHP-F37JDK など 6 機種) New
2. 寒冷地仕様の大容量 560L 機種(減圧弁方式)を投入(BHP-F56JUK など 3 機種) New
3. ユーザーの節約指向に対応した「節約サポート機能」を新たに採用 New

■需要動向と開発の背景

2011年8月に累計出荷台数が300万台を突破(*7)した家庭用エコキュートは、今後も着々と普及が進み、2012年度には普及率が7%を超えると予想(*8)されます。これは、エコキュートの優れた省エネ性能に加え、電力消費のピークに影響がほとんどない深夜電力を主に使って湯を沸かす点や、タンクにためた湯を万一の断水時や災害時などに生活用水として活用できる点などが注目されていることが、要因として考えられます。

このような市場環境や節電意識の高まりを受け、今回当社では、より多くの家庭での設置に対応するため、寒冷地仕様タイプに大容量の560L機種を新たにラインアップしました。また、節約や節電をサポートする機能を充実させています。

(*7) 電気事業連合会・一般社団法人日本冷凍空調工業会・一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターより、2011年9月26日に発表。

(*8) 当社調べ。

■添付資料

主な新製品の詳細説明

新製品 30 機種の内訳

主な新製品の仕様

■お客様からの問い合わせ先

日立アプライアンス株式会社 ヒートポンプ給湯機事業企画部 [担当:中村]
〒105-8410 東京都港区西新橋二丁目15番12号(日立愛宕別館)
電話 03-3506-1616 (ダイヤルイン)

■エコキュートホームページ

<http://kadenfan.hitachi.co.jp/kyutou/>

以上

(添付資料)

■主な新製品の詳細説明

1. 「ナイアガラ出湯」寒冷地仕様^(*)の新製品を発売(BHP-F37JDK など 6 機種^(**))

水道圧をそのまま利用して瞬間的に沸き上げて給湯する日立独自の「水道直圧給湯」方式を採用した「ナイアガラ出湯」シリーズは、浴室のシャワーと台所の蛇口 2 か所で同時に沸き出しても勢いのあるシャワーが使えます。

新製品 6 機種では、圧縮機や送風機システムの見直しなどで高効率化を図った新開発の寒冷地向けヒートポンプユニットを採用しました。これにより、BHP-F37JDK、BHP-F37JDKE、BHP-F37JDKJ の 3 機種で、年間給湯保温効率(JIS)3.2 (寒冷地年間給湯保温効率(JIS)2.9)^(***)を実現しました。

また、従来製品^(****)同様に最低外気温が-25℃まで下がる寒さの厳しい地域においても 80℃の高温沸き上げに対応しています。さらに、「ふる追いだき配管」を清潔に保つ「ステンレス・クリーン システム」も継続採用しています。



[図 1 寒冷地向け高効率ヒートポンプユニット]

- (*) 最低外気温が-25℃までになる地域でも設置可能(次世代省エネルギー基準 I・II 地域(一部の極寒冷地を含む))。貯湯ユニットは、北海道地域および最低外気温が-15℃を下回る地域では、屋内に設置してください。
- (**) タンク容量 370L の BHP-F37JDK、BHP-F37JDKE(耐塩害仕様)、BHP-F37JDKJ(耐重塩害仕様)、タンク容量 460L の BHP-F46JDK、BHP-F46JDKE(耐塩害仕様)、BHP-F46JDKJ(耐重塩害仕様)の 6 機種。耐塩害・耐重塩害仕様の詳細は P.5 参照。
- (***) 年間給湯保温効率(JIS)とは日本工業規格 JIS C 9220:2011 に基づく、家庭用ヒートポンプ給湯機運転時の単位消費電力量あたりの給湯熱量・保温熱量を表したもの。算出方法などの詳細は P.5 参照。
- (****) 従来製品 BHP-F37GDK(2010 年 2 月発売)など。

2. 寒冷地仕様の大容量 560L 機種(減圧弁方式)を投入(BHP-F56JUK など 3 機種^(*))

水道水をタンクにため、沸き上げた後に給湯する減圧弁方式を採用した本製品は、寒冷地仕様タイプのエコキュートとしては当社初となる、貯湯ユニット内のタンクを 560L とした大容量機種です。当社のタンク容量 460L 機種^(**)にくらべて、42℃の湯を約 200L^(***)多く使用することができ、設置世帯の人数の目安は 460L の 4~6 人に対し、5~7 人としています。また、目安人数以下の世帯でも、常時湯をたくさん使用する家庭では、電気料金の安い夜間の沸き上げでタンクに湯をためておき、昼間の沸き増しを抑えるという使い方もおすすめです。

さらに、タンク容量が大きくなり放熱面積が増えるため、省エネ性の確保が難しくなるという課題についても、寒冷地用に新開発した高効率ヒートポンプユニットの採用などにより、全 3 機種で年間給湯保温効率(JIS) 2.9 (寒冷地年間給湯保温効率(JIS)2.5)を実現しました。加えて、急な沸き増し時にも快適に使用できるようにヒートポンプユニットの加熱能力を 7.5kW の高出力としております。



[図 2 560L 機種で使用できる湯量の目安]

- (*) BHP-F56JUK、BHP-F56JUKE(耐塩害仕様)、BHP-F56JUKJ(耐重塩害仕様)の 3 機種。耐塩害・耐重塩害仕様の詳細は P.5 参照。
- (**) 従来製品 BHP-F46JU(2011 年 10 月発売)など
- (***) 試算条件:タンク湯温 80℃。水温 5℃。湯はり温度 42℃。浴そう湯量 180L。シャワーは温度 42℃。毎分 10L にて 1 回で 8 分使用。
※浴そうの湯量、シャワーの使い方などによって値は変わります。使える湯量の目安は、560L の場合約 1,100L、460L の場合約 900L。

3. ユーザーの節約指向に対応した「節約サポート機能」を新たに採用

今回発売する全 30 機種では、「使用湯量目安」「おすすめ設定」「シャワーアラーム」「上手な使いかた」の 4 つの「節約サポート機能」を新たに採用しました。付属の見やすく使いやすい大型液晶リモコンで簡単に設定できるこれらの機能により、ユーザーの積極的な使用湯量の節約や節電をサポートします。

①「使用湯量目安」

同時刻の前日・週平均における湯の使用実績が、レポート形式による1画面で確認ができます。また、当日の残湯量と前日の同時刻以降の使用量も比較確認もでき、使用湯量の節約を判断する目安としたり、沸き増しすべきかどうかといったユーザーの判断をサポートします。

使用湯量目安(設定42°C換算)		
	15:23	1日分
本日	290L	-
昨日	480L	800L
週平均	500L	850L
決定:決定		

残湯量目安(設定42°C換算)	
残湯量	昨日の同時刻以降の使用量
520L	[320L]
決定:決定	

[図 2 「使用湯量」画面]
※イメージ図

②「おすすめ設定」

過去の湯の使用実績を学習した結果に基づき、2 種類の沸き上げメニューから、より適した設定を表示します。

1日あたりの湯の使用量のばらつきが少ない場合には、実績に応じた湯量を深夜電力で沸き上げる「おまかせ節約」をおすすめの設定として表示します。一方、日によって湯の使用量のばらつきが大きい場合には、湯切れしにくいように多めの湯を深夜電力で沸き上げておき、昼間の沸き増しを抑制する「おまかせ多め」^(*)を表示します。

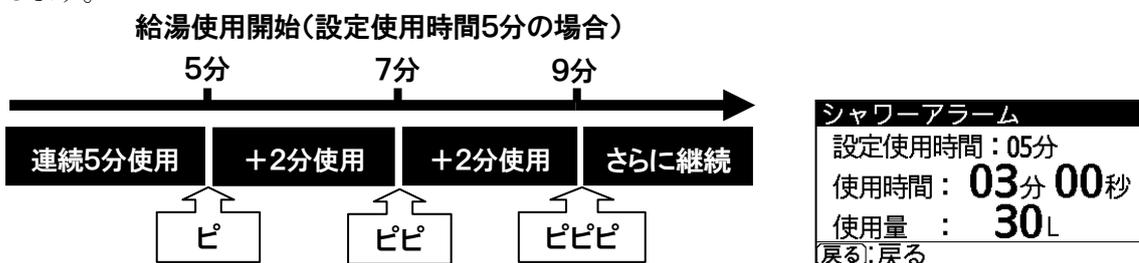
おすすめ設定	
沸き上げ設定	
おすすめ	
おまかせ節約	おまかせ多め
◀:選択 (決定):決定	

[図 3 「おすすめ設定」画面]
※イメージ図

(*)「おまかせ節約」から「おまかせ多め」に変更した場合、効率が低下し節約にならない場合があります。

③「シャワーアラーム」

ユーザーが任意に設定した湯の連続使用時間を超えるとリモコンのアラーム音でお知らせします。また、使用中からリモコンの画面を自動的に切り替え、湯の連続使用時間および使用量を表示します。



[図 4 「シャワーアラーム」設定時のアラーム音の発生タイミングと表示画面]
※イメージ図

④「上手な使いかた」

エコキュートをよりかしこく使用するためのポイントを、リモコン画面上で確認することができます。

■新製品 30 機種の内訳

				合計
	標準仕様	耐塩害仕様 ^(*9)	耐重塩害仕様 ^(*9)	
フルオート「ナイアガラ出湯」 （「水道直圧給湯」方式）	2 機種	2 機種	2 機種	6 機種
フルオート（減圧弁方式）	4 機種	4 機種	4 機種	12 機種
給湯専用（減圧弁方式）	4 機種	4 機種	4 機種	12 機種
合計	10 機種	10 機種	10 機種	30 機種

(*9) 耐塩害仕様とは、潮風にはかからないが、その雰囲気にあるような場所に設置する仕様。耐重塩害仕様とは、潮風の影響を受ける場所に設置する仕様。ただし、塩分を含んだ水が直接かからないものとする。（一般社団法人日本冷凍空調工業会標準規格抜粋）

■主な新製品の仕様

	タイプ	フルオート「ナイアガラ出湯」 （「水道直圧給湯」方式）		フルオート （減圧弁方式）		
		標準タンク		標準タンク		
システム	形式 ^(*10)	BHP-F46JDK	BHP-F37JDK	BHP-F56JUK	BHP-F46JUK	BHP-F37JUK
	仕向地	寒冷地向け				
	適用電力制度	季節別時間帯別電灯/時間帯別電灯（通電制御対応（申請中））				
	設置場所	屋外設置型				
	電源	単相 200V (50/60Hz)				
	年間給湯保温効率 (JIS) ^(*11)	3.1	3.2	2.9	3.0	3.1
	寒冷地年間給湯保温 効率(JIS) ^(*11)	2.8	2.9	2.5	2.7	2.8
貯湯ユニット	形式 ^(*10)	BHP-TAD464K	BHP-TAD374K	BHP-TA564K	BHP-TA464K	BHP-TA374K
	タンク容量	460L	370L	560L	460L	370L
	最高使用圧力	タンク側 190kPa 減圧弁(170kPa) 給湯側 500kPa		タンク側 190kPa 減圧弁(170kPa)		
	外形寸法(mm) [高さ×幅×奥行]	2165×625×730	1835×625×730	2132×685×800	2165×625×730	1835×625×730
ヒートポンプユニット	形式 ^(*10)	BHP-HA604K	BHP-HA454K	BHP-HA754K	BHP-HA604K	BHP-HA454K
	外形寸法(mm) [高さ×幅×奥行]	720×792×299				
	中間期標準加熱能力	6.0kW	4.5kW	7.5kW	6.0kW	4.5kW
	冷媒名	R744(CO ₂)				

(*10) システム・貯湯ユニット・ヒートポンプユニットには、それぞれ同等のスペックの耐塩害仕様及び耐重塩害仕様をラインアップしています。それらの機器の形式は、耐塩害仕様の場合には末尾に“E”を、耐重塩害仕様の場合には末尾に“J”を付記したものととなります。

(*11) 年間給湯保温効率(JIS)とは日本工業規格 JIS C 9220:2011 に基づく、家庭用ヒートポンプ給湯機運転時の単位消費電力量あたりの給湯熱量・保温熱量を表したもの。年間給湯保温効率(JIS)=1 年間で使用する給湯とふろ保温に係わる熱量÷1 年間に必要な消費電力量。寒冷地年間給湯保温効率(JIS)とは次世代省エネルギー基準Ⅱ地域の盛岡で使用されることを想定して算出した年間給湯保温効率(JIS)。地域条件・運転モードの設定や、使用条件等により異なります。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
